

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

臨床研究名称： 日本集中治療医学会のデータベース（JIPAD）を用いた同一入院 ICU 再入室患者の予測モデルの作成

研究の目的

ICU に予期せぬ形で再入室する患者様は、ICU 在室日数や在院日数が長期となったり、予後が悪くなることが知られています。予期せぬ再入室を防ぐためには、ICU 退室後の follow が重要であるという報告もあります。そこで、日本最大の集中治療に関するデータベースである JIPAD データを用いて日本の ICU における緊急再入室患者の予測モデルを作成し、再入室のリスクのある患者の識別を試みることが本研究の目的です。

研究実施期間： 実施許可日 ～ 2027 年 3 月 31 日

対象となる方： 当院から 2018-2022 年度の JIPAD に登録されている成人患者（16 才以上）

利用させていただきたい試料・情報について

2018-2022 年度の既に個人情報情報が匿名化されている JIPAD のデータを日本集中治療医学会の提供を受けて研究を開始します。この JIPAD データには、本院の患者様のデータも入っております。そして、この JIPAD データから緊急 ICU 再入室患者様を抽出し、年齢、性別、Body Mass Index、患者重症度スコア、入室様式、慢性疾患の有無、ICU 内での主な治療、ICU 在室日数、在院日数、ICU 退室時と退院時の状態などのデータを利用して、緊急 ICU 再入室を予測するモデルを作成します。

本研究には他機関の共同研究者として、東京大学大学院医学系研究科 医療品質評価講座 遠藤英樹先生にも協力いただく予定です。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。当院の患者様のデータのみ削除が可能となります。

本件連絡先	弘前大学医学部附属病院 麻酔科・集中治療科 橋場 英二 0172-33-5111（内 5322）
-------	---